

12/16 朝刊

国が一転賠償責任認める

森友改さん職員自殺幕引き図る

森友学園問題に関する財務省の決裁文書改ざんを審
 判に二〇一八年に自殺した財務省近畿財務局の元職員赤
 木俊夫さん（当時）の妻雅子さん（56）が、国と関
 省理財局長だった佐川宣春元国税庁長官に損害賠償を
 求めた訴訟の進行協議（非公開）が十五日、大阪地裁
 であり、国が賠償責任を認め、約一億円の請求を受け
 入れる誓面を提出した。国との訴訟は同日終結し、今
 後は佐川氏のみを被告として続く見通し。請求棄却を
 求めて争ってきた国は一転して賠償金を支払うことで
 幕引きを図った形だ。

妻「負けたような気持ち」

雅子さん側が明らかにし、在雅子さん側に開示。佐川
 氏。事前の通告はなかった
 といふ。国側は今年六月、
 赤木さんが改ざんの経緯を
 まとめた「赤木ファイル」
 を求めていた。



赤木俊夫さん（左）と妻雅子さん（右）
 赤木雅子さん提供

雅子さんの代理人弁護士
 によると、国家賠償請求訴
 訟で国が訴えをそのまま認
 めて終結させるのは極めて
 異例。雅子さんは大阪市内
 で開いた記者会見で「負け
 たような気持ちだ。真実を
 知りたいと訴えてきたが、
 こんな形で終わってしま
 い、悔しくて仕方がない」
 と話した。
 代理人弁護士は「事実を
 解明する訴訟だったが非公

開の協議で訴訟を終わらせ
 てしまった。国は隠したい
 事実があるのではないかと
 批判した。

国側は地裁に提出した誓
 面で赤木さんの自殺原因を
 「財務省理財局からの決裁
 文書改ざん指しや森友学園
 案件に係る情報公開請求へ
 の対応などの業務に忙殺さ
 れ精神面、肉体面に過剰な
 負荷が継続したことで精神
 疾患を発症した」と説明し

た。

た。

請求を受け入れた理由は
 「いたずらに訴訟を長引か
 せるのは適切ではなく、決
 裁文書の改ざんという重大
 な行為が介在している事実
 の性質などに鑑みた」とし
 た。

雅子さんは改ざんを強い
 られて精神的に追い詰めら
 れ自殺したと主張。国は改
 ざんと自殺との因果関係に
 言及せず、賠償責任は否定

してきた。

鈴木俊一財務相は十五
 日、財務省内で記者団に
 「職務に精励していた赤木
 さんに改めて哀悼の誠をさ
 さげる。ご遺族に心よりお
 わび申し上げる」と語っ
 た。岸田文雄首相は宮邸で
 記者団に「裁判所の訴訟指
 揮に基づいて訴訟を進めて
 きた。財務省が損害賠償に
 ついて全面的に認めた」と
 述べた。